

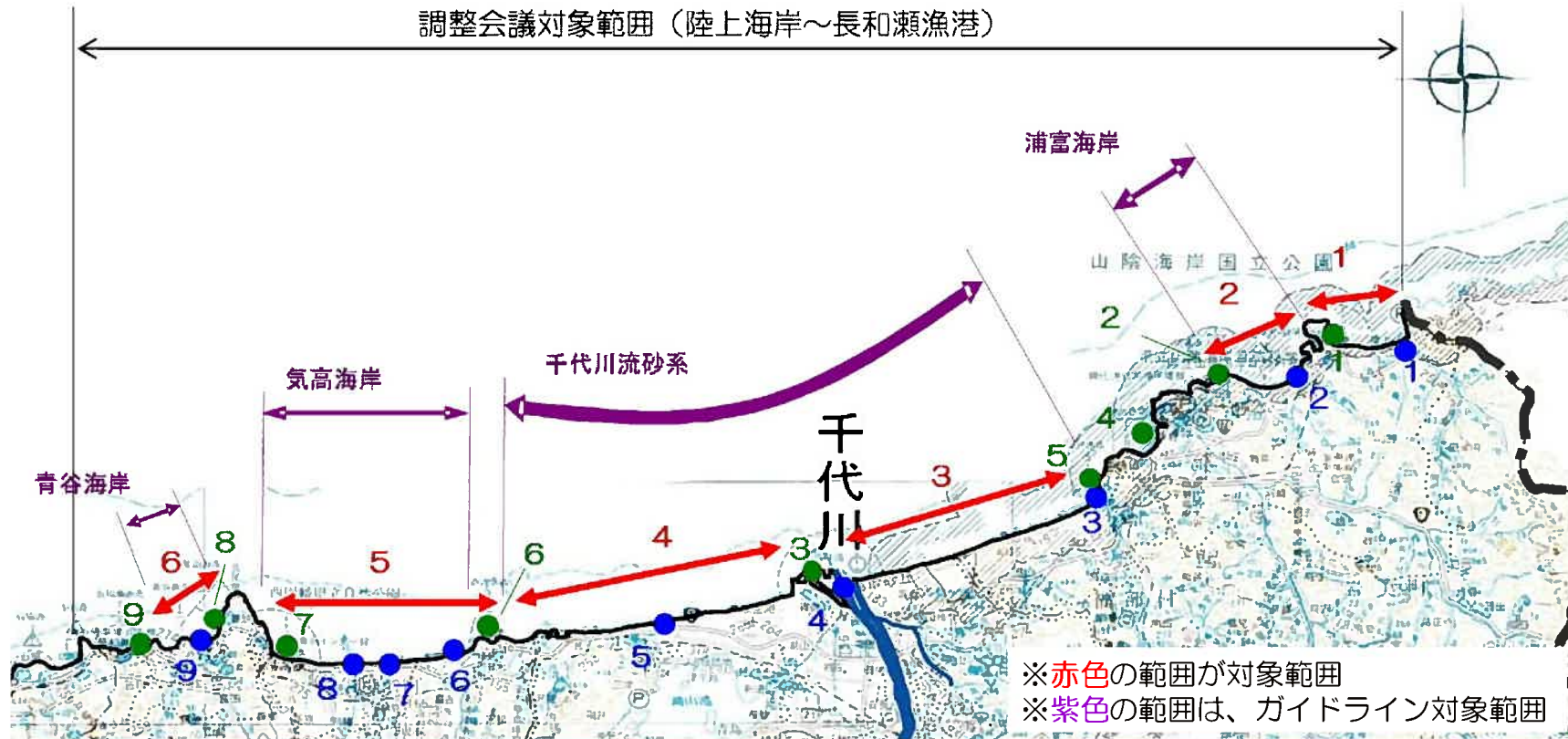
令和元年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 ＜要旨＞

R1年5月22日撮影



令和元年11月25日(月)
鳥 取 県

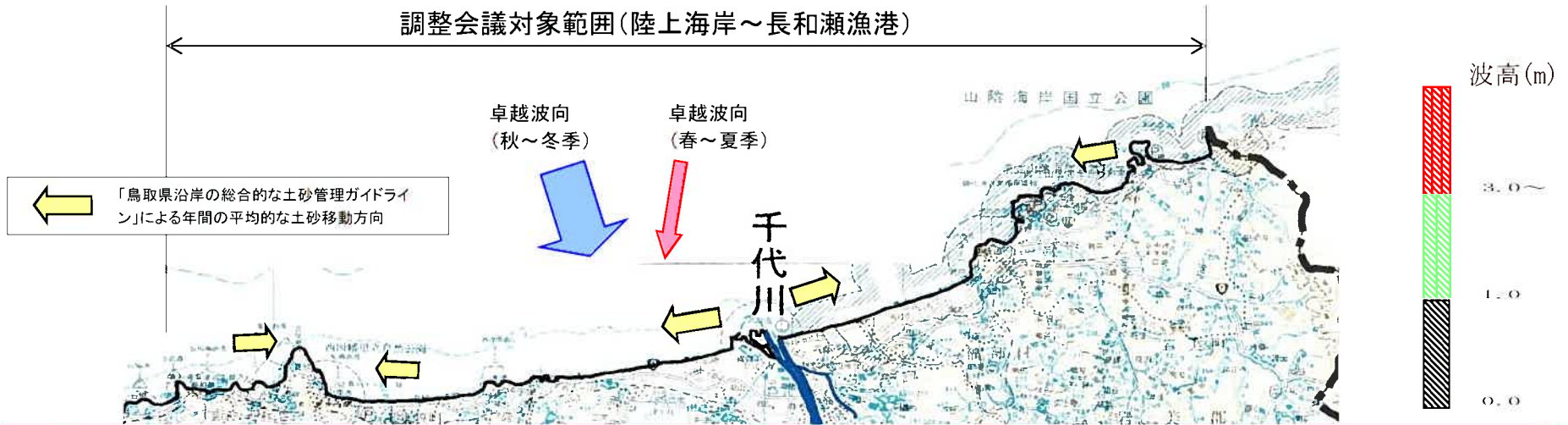
東部沿岸の対象範囲について



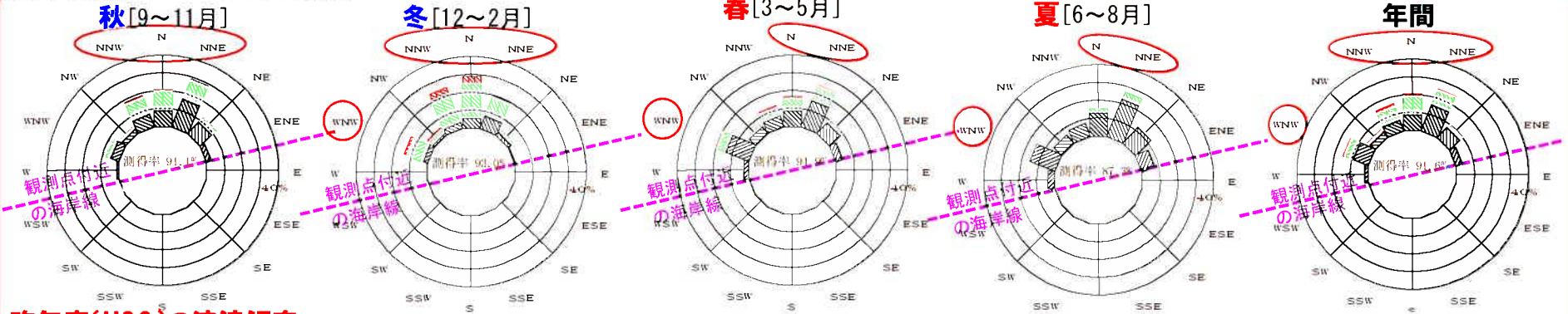
海岸				河川				港湾・漁港			
名称	管理者	種別	実施事業	名称	管理者	種別	実施事業	名称	管理者	種別	実施事業
1 岩美海岸 (陸上地区)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深淺測量 護岸・ サンドリサイクル	1 陸上川	鳥取県	二級河川	河口掘削	1 東漁港	岩美町	第1種漁港	航路・泊地浚渫
2 岩美海岸 (浦富地区)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深淺測量 リーフ整備 サンドリサイクル	2 吉田川	鳥取県	二級河川	河口掘削	2 田後港	鳥取県	地方港湾	航路・泊地浚渫
3 福部海岸・湯山海岸	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深淺測量 護岸・ サンドリサイクル	3 塩見川	鳥取県	二級河川	河口掘削	3 鳥取港	鳥取県	重要港湾	航路・泊地浚渫
4 鳥取海岸 (鳥取西地区白兔)	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深淺測量	4 千代川	国土交通省	一級河川		4 網代漁港	鳥取県	第3種漁港	航路・泊地浚渫
5 気高海岸 (水尻地区)	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深淺測量	5 溝川	鳥取県	二級河川	河口掘削	5 岩戸漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
6 青谷海岸	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深淺測量 サンドリサイクル	6 河内川	鳥取県	二級河川	河口掘削	6 酒津漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
				7 浜村川	鳥取県	二級河川	河口掘削	7 船磯漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
				8 永江川	鳥取県	二級河川	河口掘削	8 夏泊漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
				9 勝部川	鳥取県	二級河川	河口掘削	9 長和瀬漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫

対象範囲の波浪・漂砂移動について

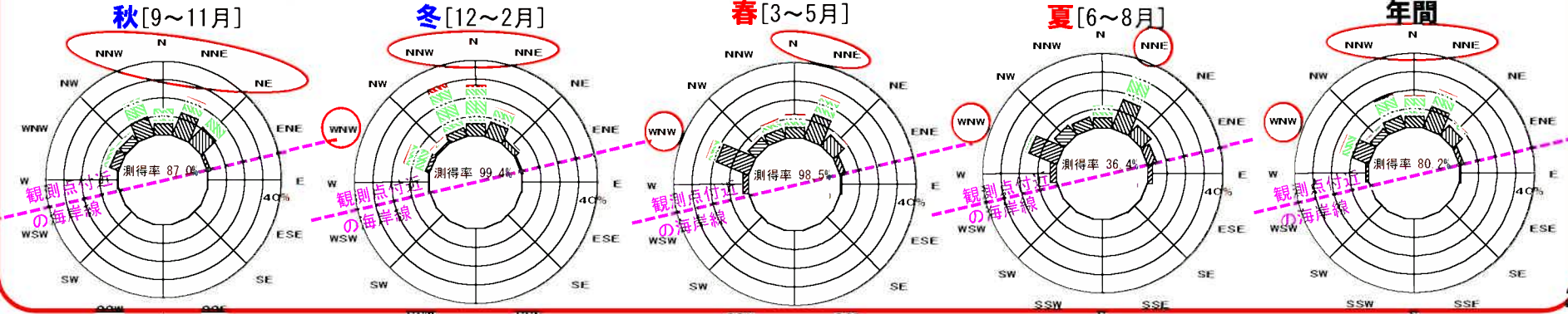
調整会議対象範囲(陸上海岸～長和瀬漁港)



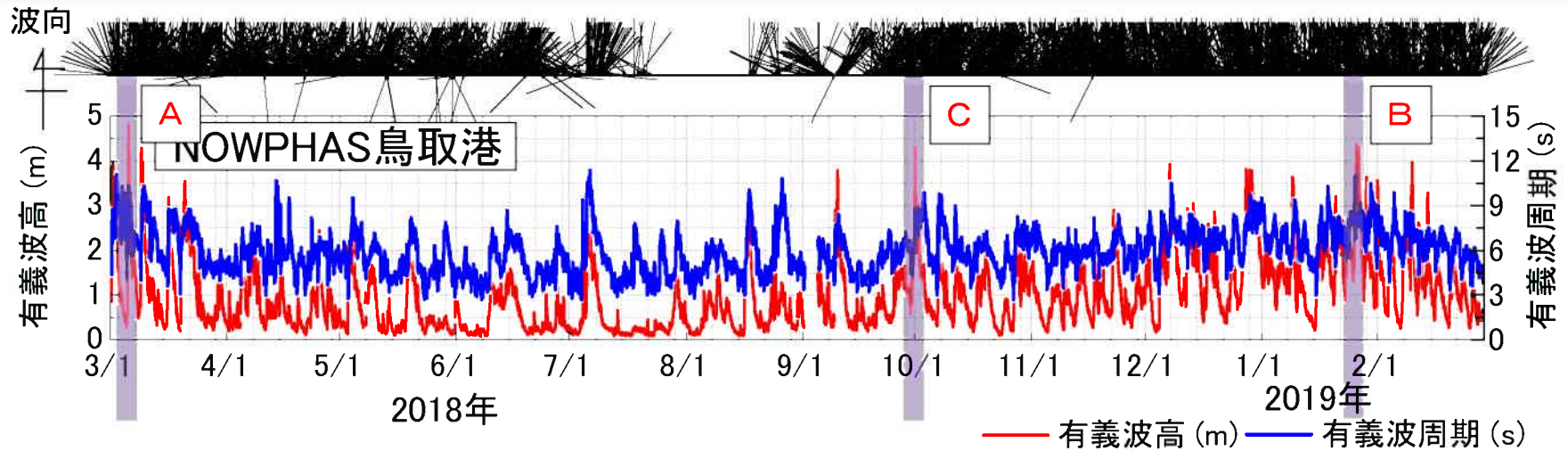
近年波浪(H15～H30)の傾向



昨年度(H30)の波浪傾向

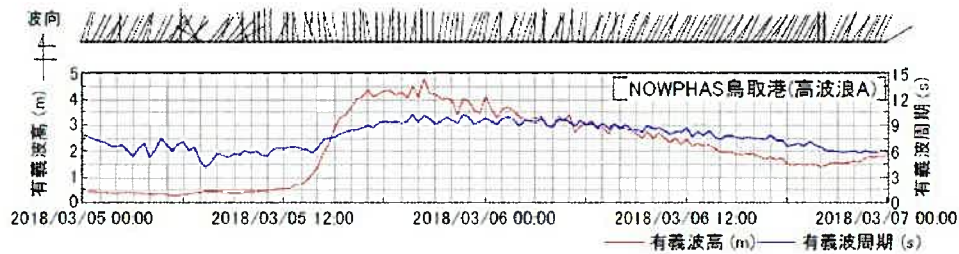


対象範囲の波高について 【平成30年度の来襲波浪】



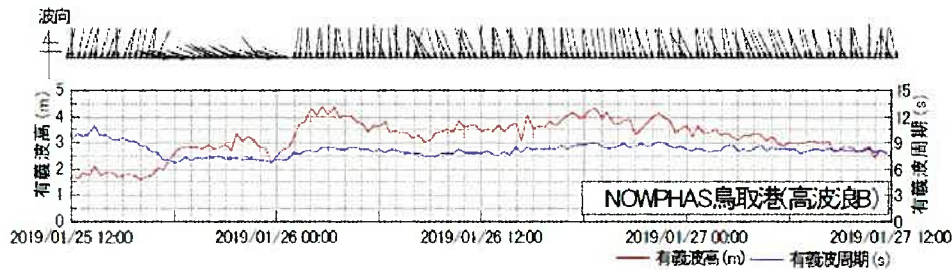
(冬季風浪)

A



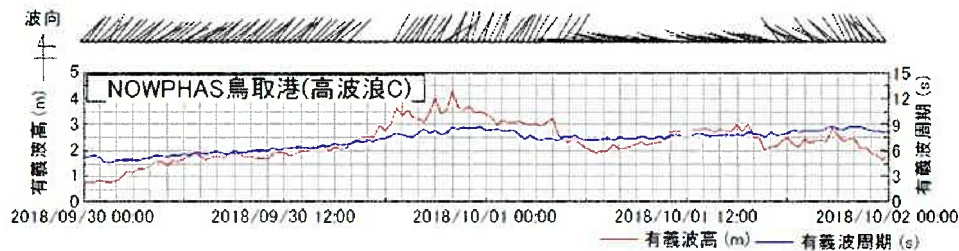
(冬季風浪)

B



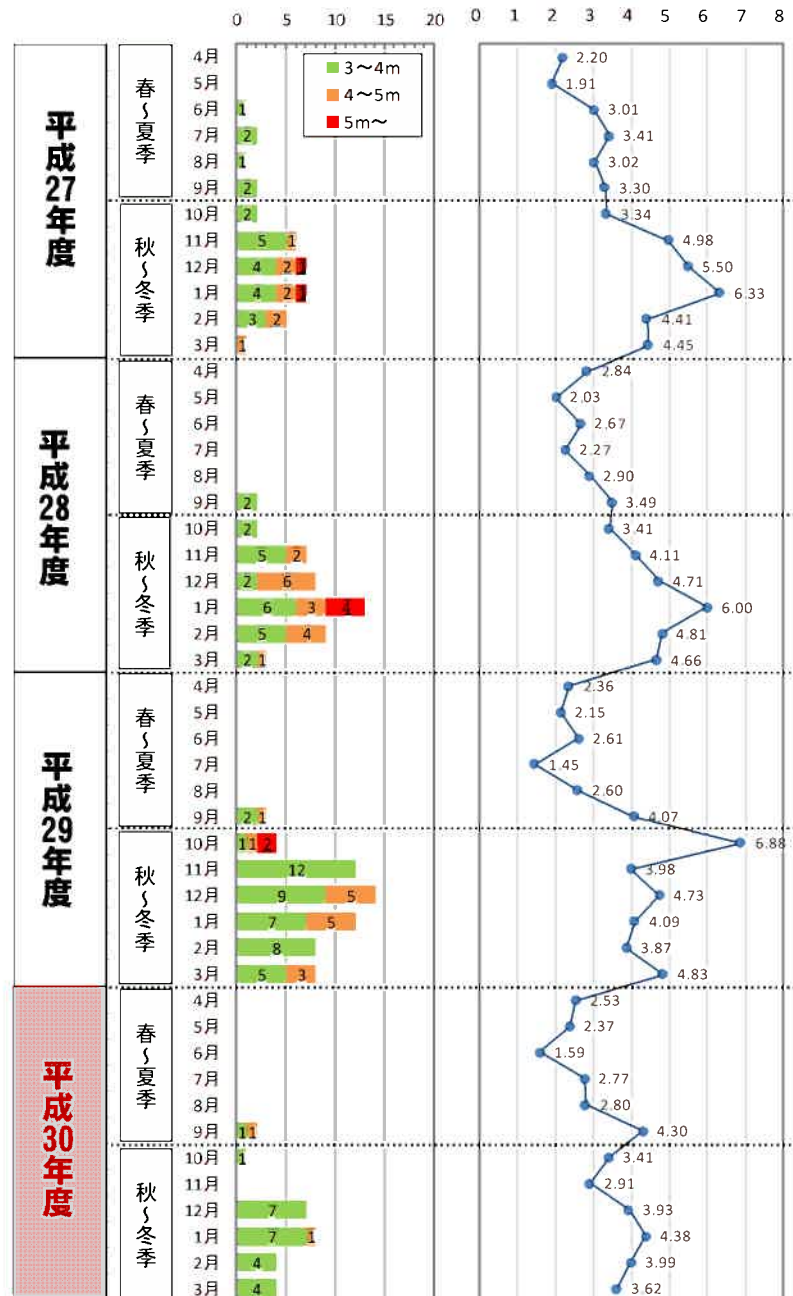
(台風21号)

C



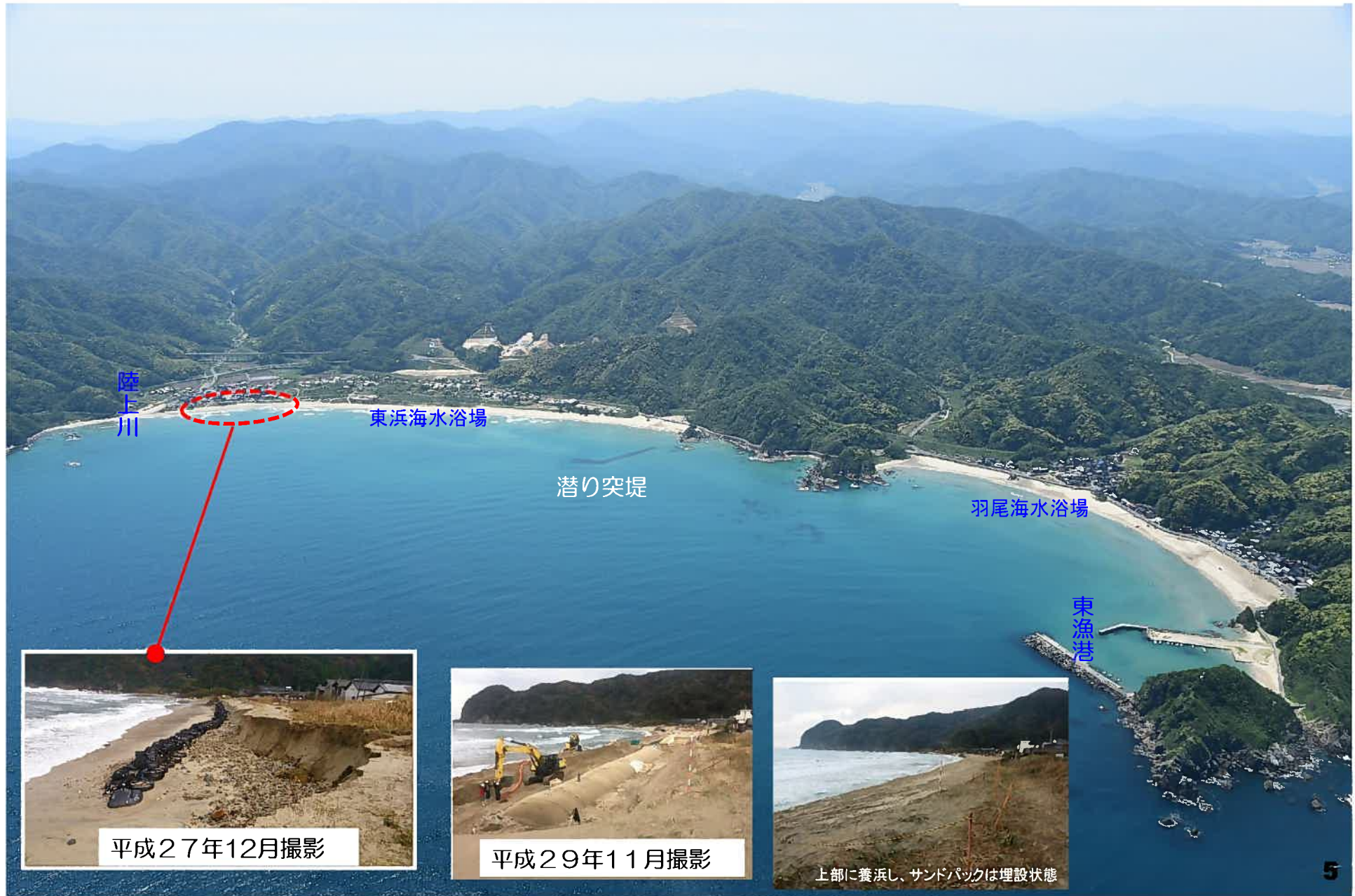
対象範囲の波高について 【平成27年度～平成30年度の波高出現状況】

有義波高の発生回数（日数） 月最大 有義波高（m）

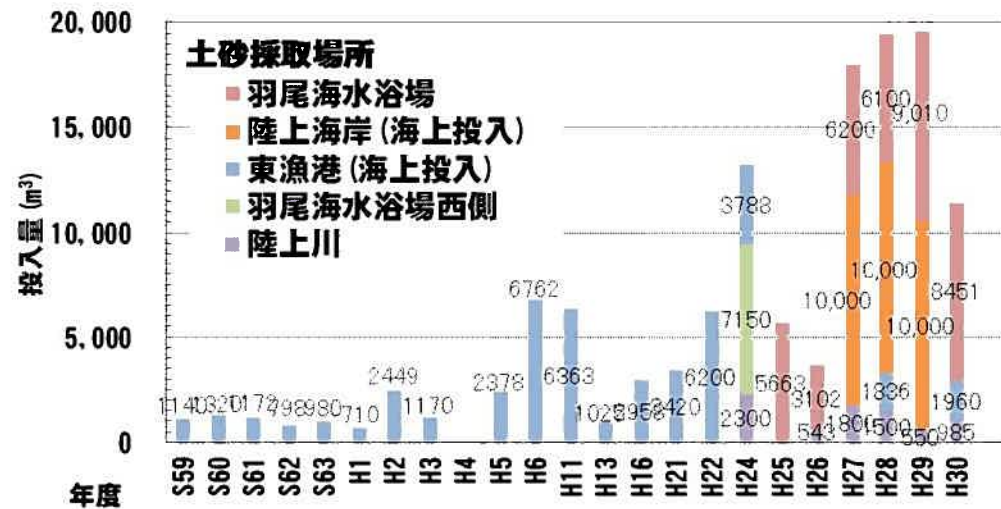
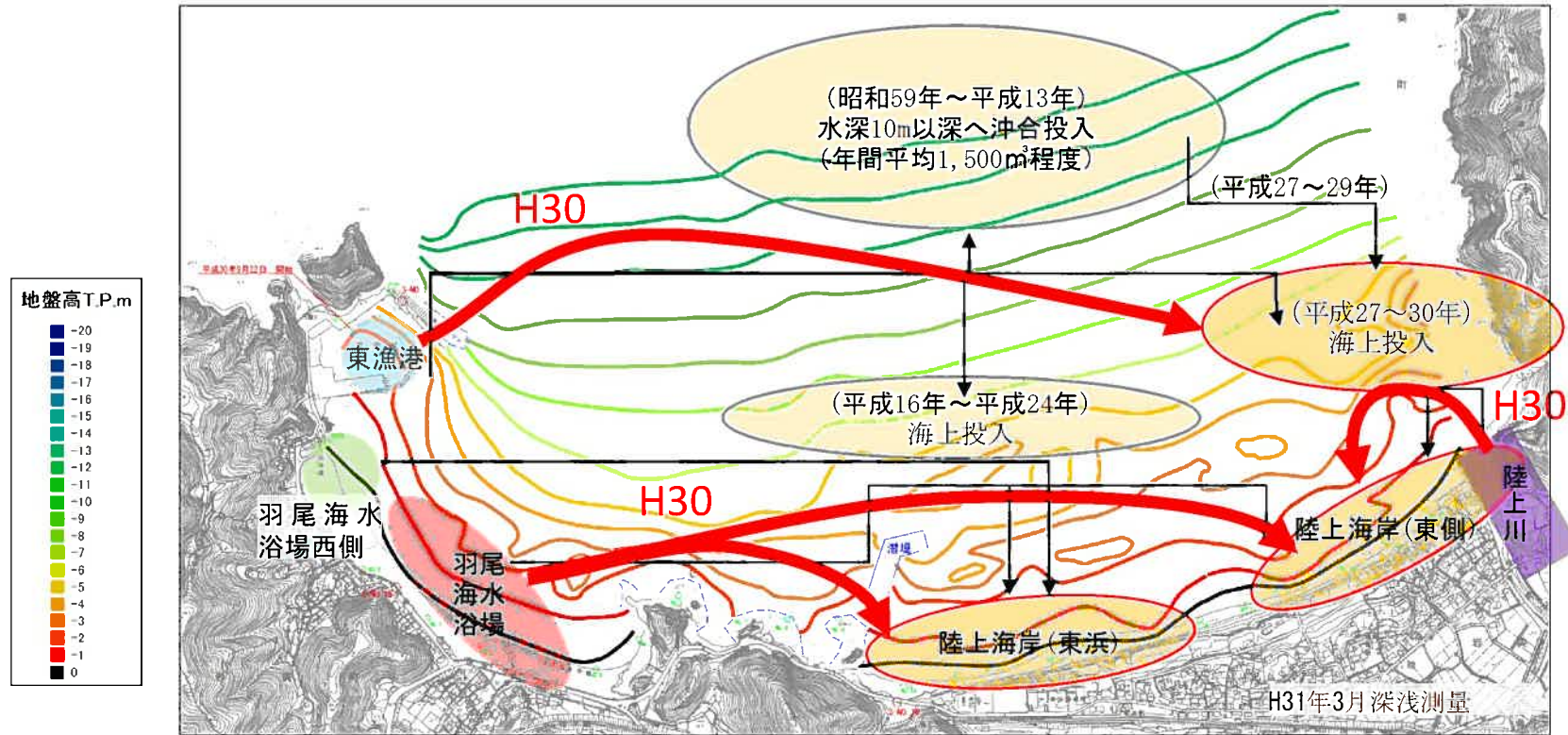


①岩美海岸(陸上地区) 【航空写真】

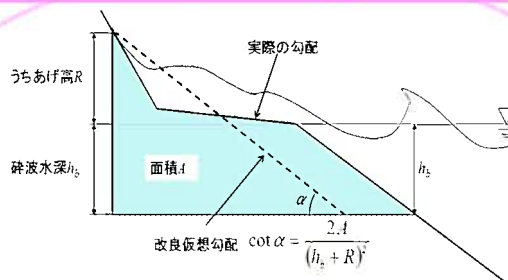
令和元年5月22日撮影 航空写真



①岩美海岸(陸上地区) 【サンドリサイクル実績】



『防護』で必要な浜幅 ⇒ 25m



『環境』に適した浜幅 ⇒ 施工配慮



海浜に生息する動植物、「白砂青松の海岸」、「山陰海岸国立公園」等の景勝地に影響のない浜幅を検討。

越波防止の観点・過去の海岸侵食状況を考慮して設定。
 ※越波防止に関しては「中村の仮想勾配法」による波のうちあげ高を算出。

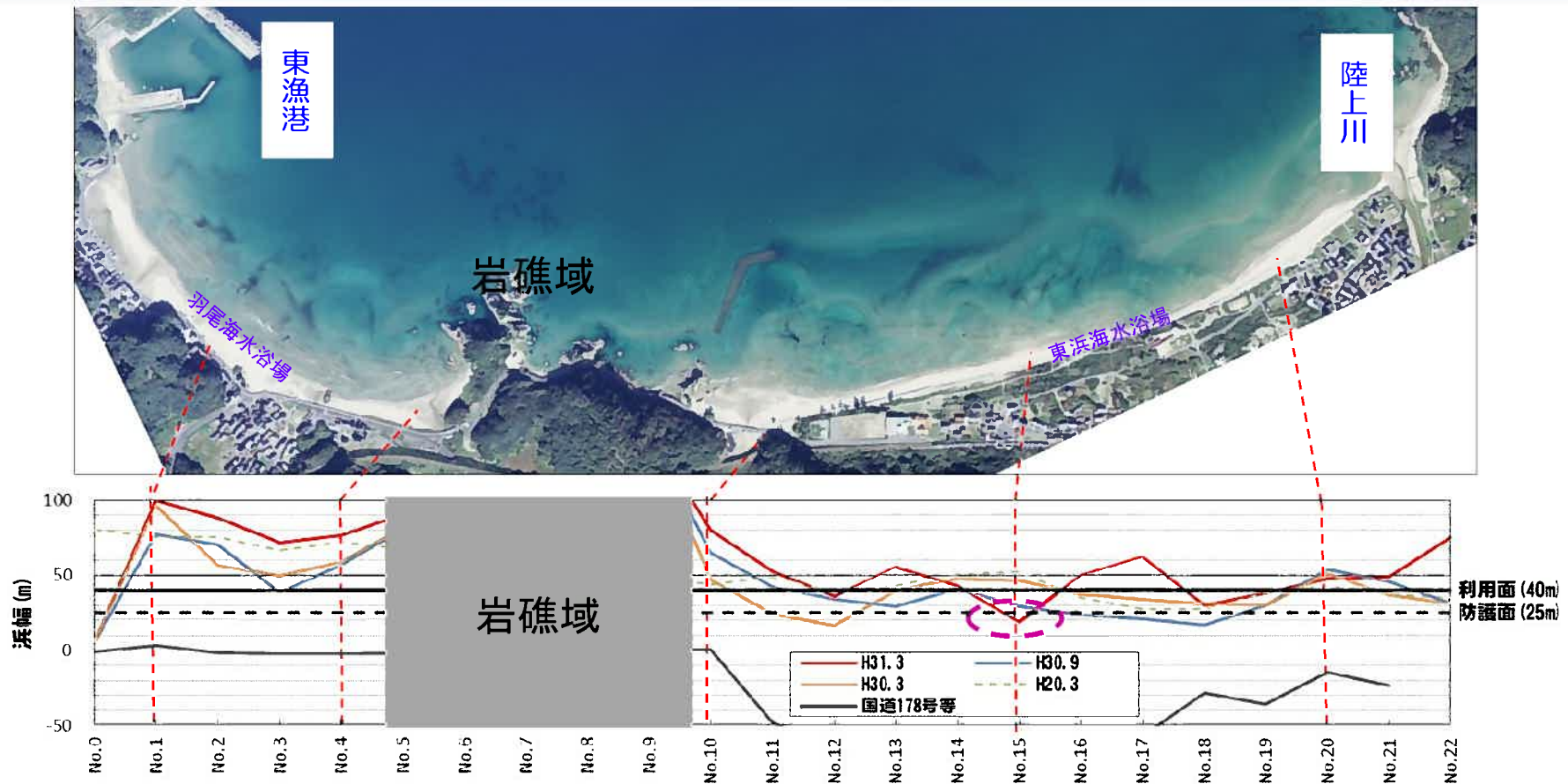
『利用』に適した浜幅 ⇒ 40m



海水浴場・地引網・キャンプ等の海浜レクリエーションで利用しやすい浜幅を検討。

「国土交通省港湾局監修(2005.10):ビーチ計画・設計マニュアル(改訂版)」海水浴客の海浜幅に対する評価より、40mと設定。

①岩美海岸(陸上地区) 【目安とする浜幅分析】



長期的な変化 (H19~R1)	継続的にサンドリサイクルを実施しているため、安定している。
過年度の対策 (H19~H30)	サンドリサイクル、海上養浜工(移動限界水深以深より運搬、H27~H29)、サンドバック(試験施工)
本年度の対策 (R1)	サンドリサイクル
短期的な変化 (H29~H30)	サンドリサイクルにより、汀線位置は概ね維持。冬季風浪により浜崖が発生。
来年度の対策予定 (R2)	サンドリサイクル

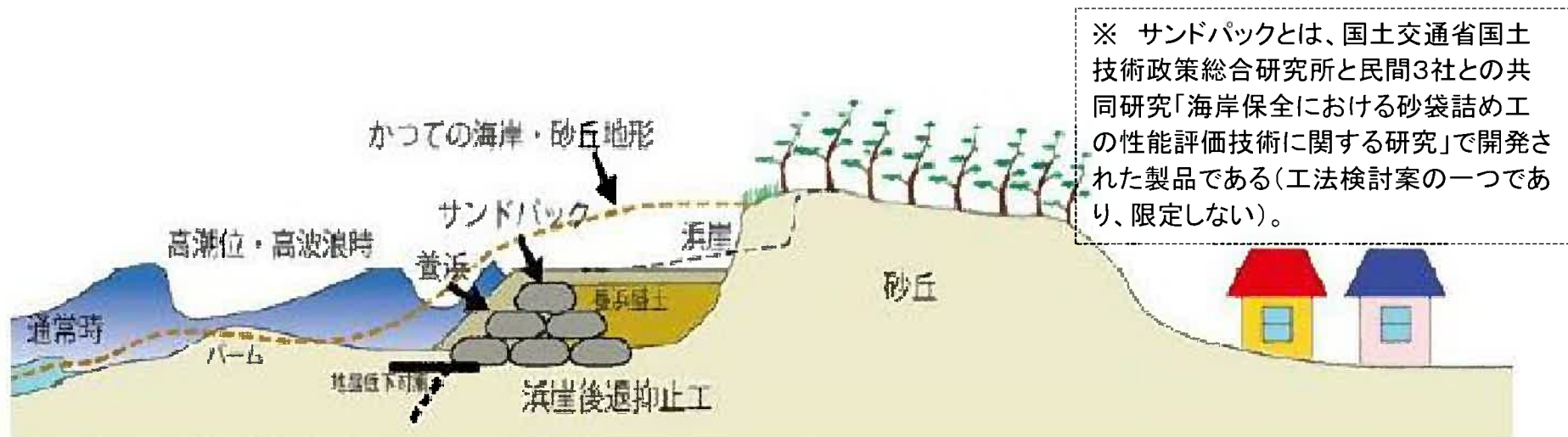
- H21~29年度 サンドリサイクル量100,558m³(年平均10,056m³) H30 11,396m³
- 利用(40m) …東浜海水浴場については、浜幅(40m)を下回っている状況。海水浴時期には注視する。
- 防護(25m) …概ね確保されているが、局所的に汀線の後退傾向の箇所がみられる。

<対応方針>

引き続きサンドリサイクルを行いつつ、経過観察を行う。局所的に汀線後退が生じている箇所について、今後の動態に注視する。

浜崖後退抑止工（概要）

- 浜崖後退抑止工とは、最小限の高さのサンドバックとその背後に行う養浜盛土が一体となって、砂丘が崖状に侵食する浜崖の後退を防止又は抑制する工法である。
- 本工法により浜崖背後の砂丘を保全でき、砂丘が有する防護機能や塩害・飛砂の抑制機能を助ける。
- サンドバックは、現地の海浜材料や養浜材を中詰め材として用いるため、コンクリート護岸に比較して施工が迅速である。
- サンドバックを用いた浜崖後退抑止工法は、天端をバーム（波浪によって形成される浜堤）高程度に抑えるため、平常時に砂をかぶり、砂浜になじむことにより景観を保全できる。
- ただし、寿命期間が10年程度と言われている（短所）。



浜崖後退抑止工（陸上地区）

陸上（くがみ）地区における取組

浜崖後退抑止工(サンドバック工法)
試験施工状況(H29.11)



H27.6撮影



(陸上地区 試験施工中)



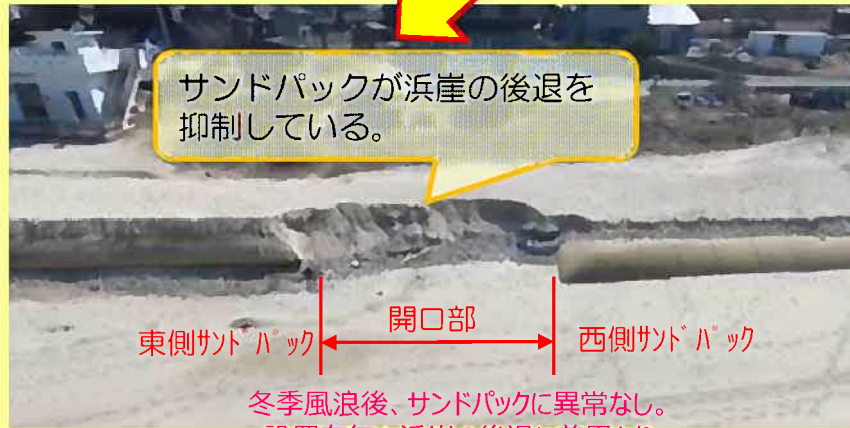
(陸上地区 試験施工後)

上部に養浜し、サンドバックは埋設状態



H27.11.27~28
爆弾低気圧等
による侵食状況
(陸上地区)

H27.12撮影



サンドバックが浜崖の後退を抑制している。

東側サンドバック ← 開口部 → 西側サンドバック

冬季風浪後、サンドバックに異常なし。
設置有無で浜崖の後退に差異あり。

冬季風浪後
(H30.3撮影)



現況(H30.4.27)

サンドバック有

サンドバック無



現況(H30.4.27)

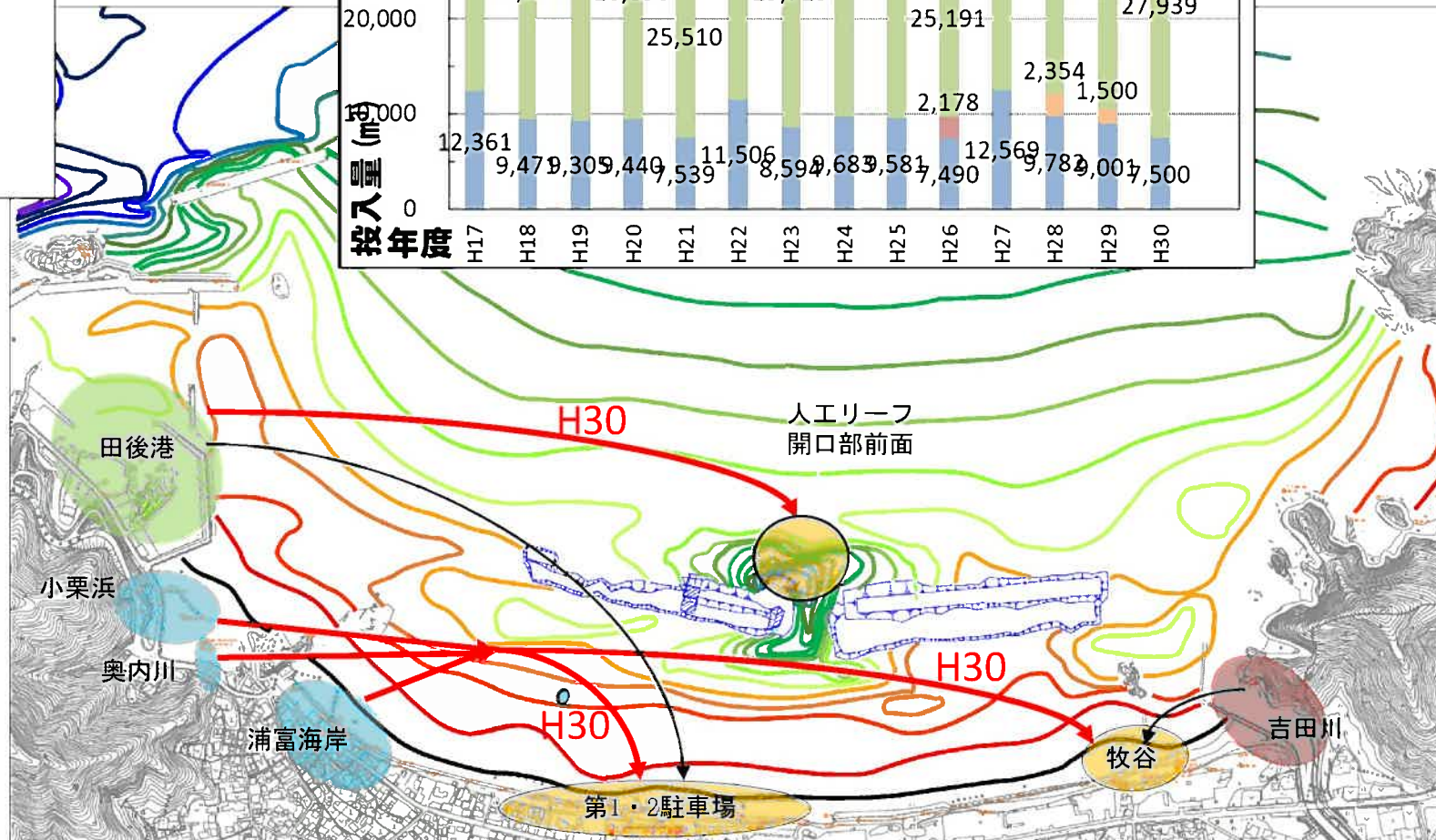
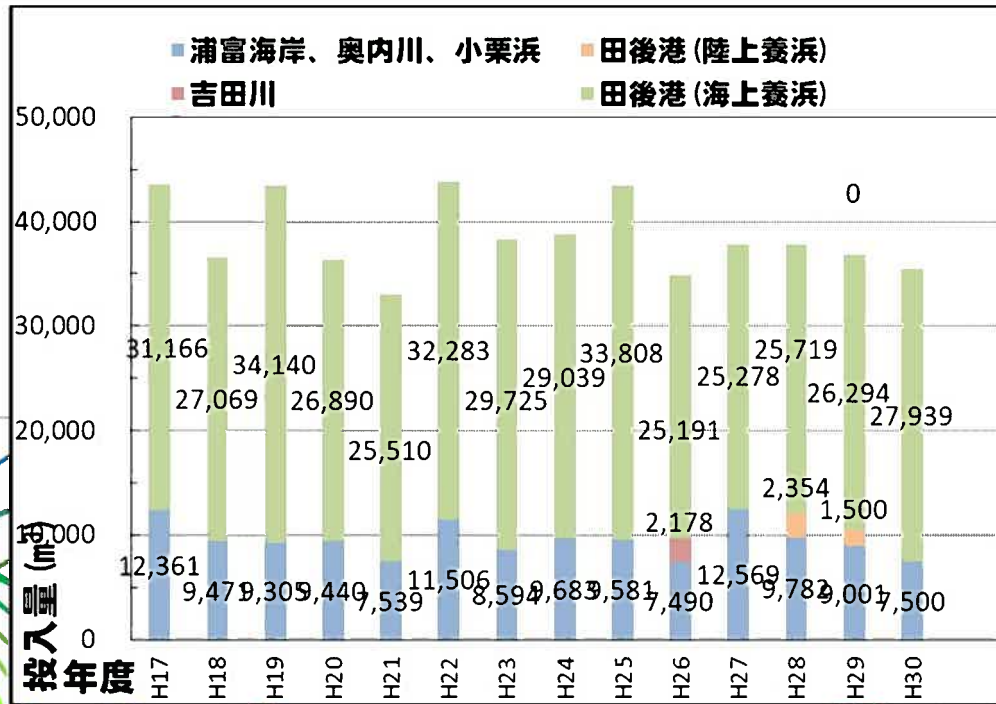
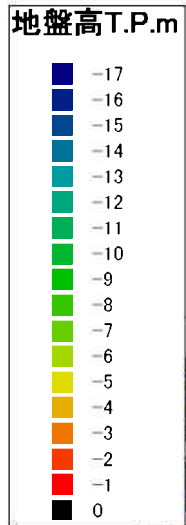
R2~
本工事施工予定

②岩美海岸(浦富地区) 【航空写真】

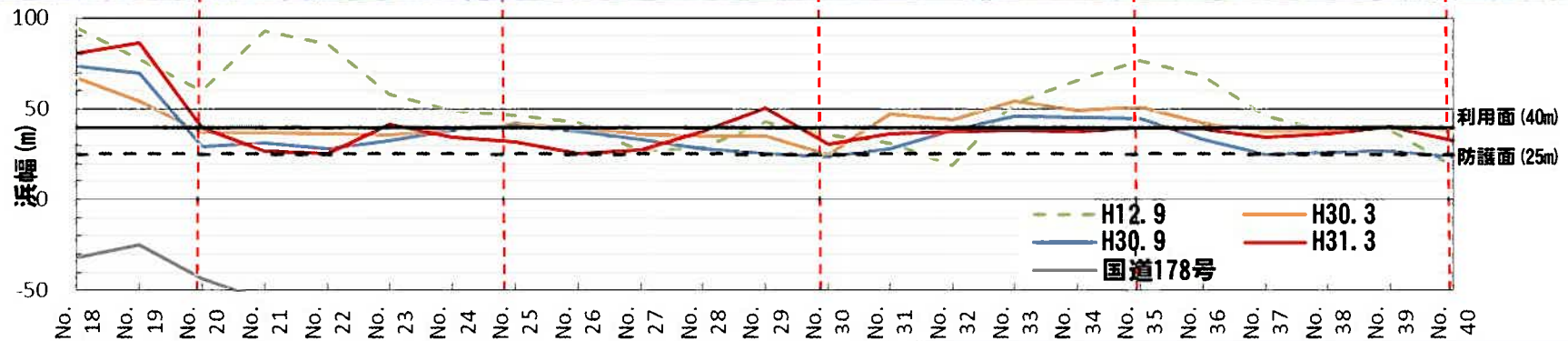
令和元年5月22日撮影 航空写真



②岩美海岸(浦富地区) 【サンドリサイクル実績】



②岩美海岸(浦富地区) 【目安とする浜幅分析】

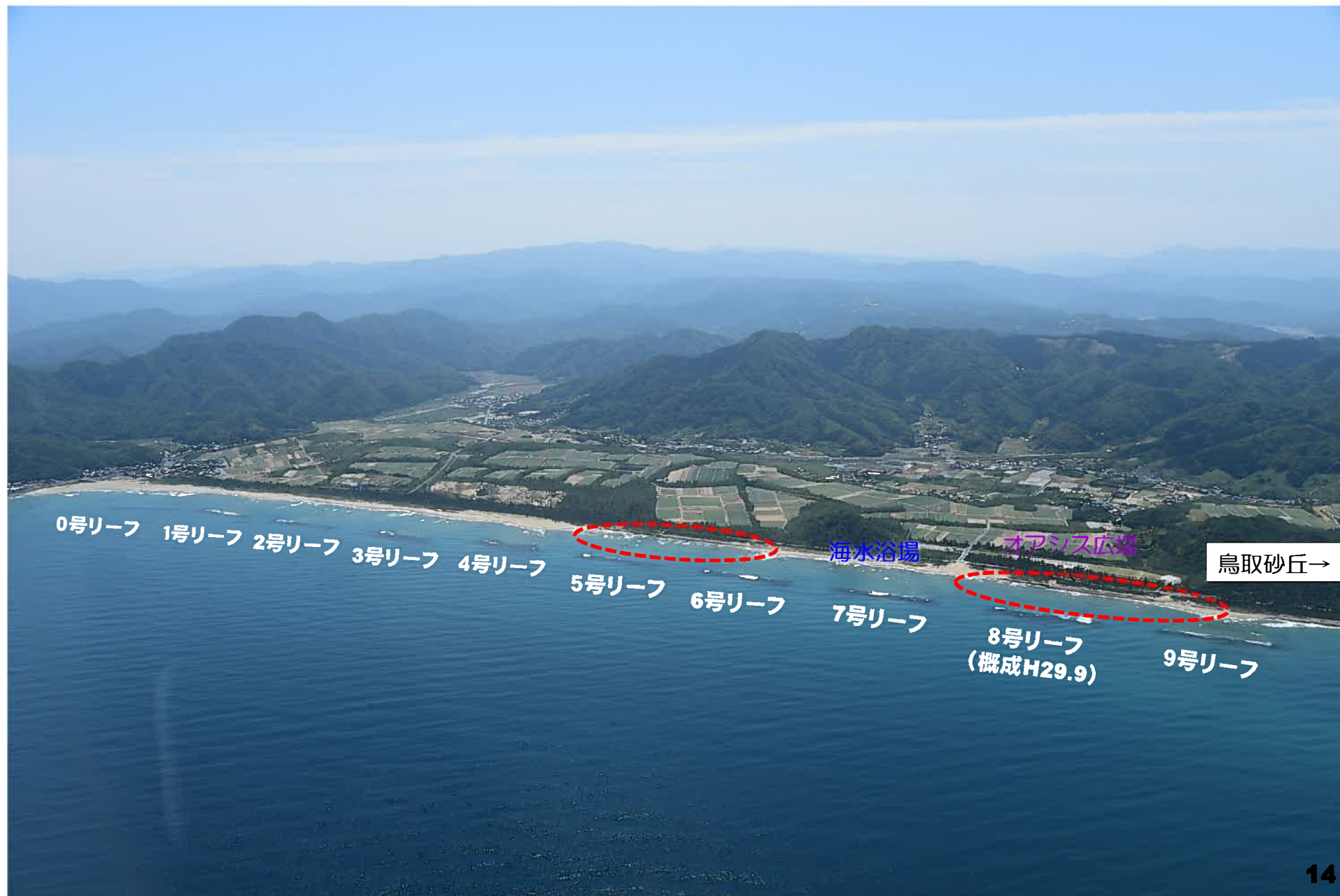


長期的な変化 (H13-R1)	人工リーフ未整備部において侵食傾向(整備部は堆積傾向)。リーフ開口部の局所洗堀はやや緩和。
過年度の対策 (H13-H30)	人工リーフ整備 (H29年度L=53m、H30年度L=25m整備)、サンドリサイクル
本年度の対策 (R1)	人工リーフ整備 (R1年度 L=16m整備)、サンドリサイクル
短期的な変化 (H30-R1)	サンドリサイクルの効果により汀線は安定傾向。近年は深掘についても進行が安定
来年度の対策予定 (R2)	人工リーフ整備(残延長L= 114m)、サンドリサイクル

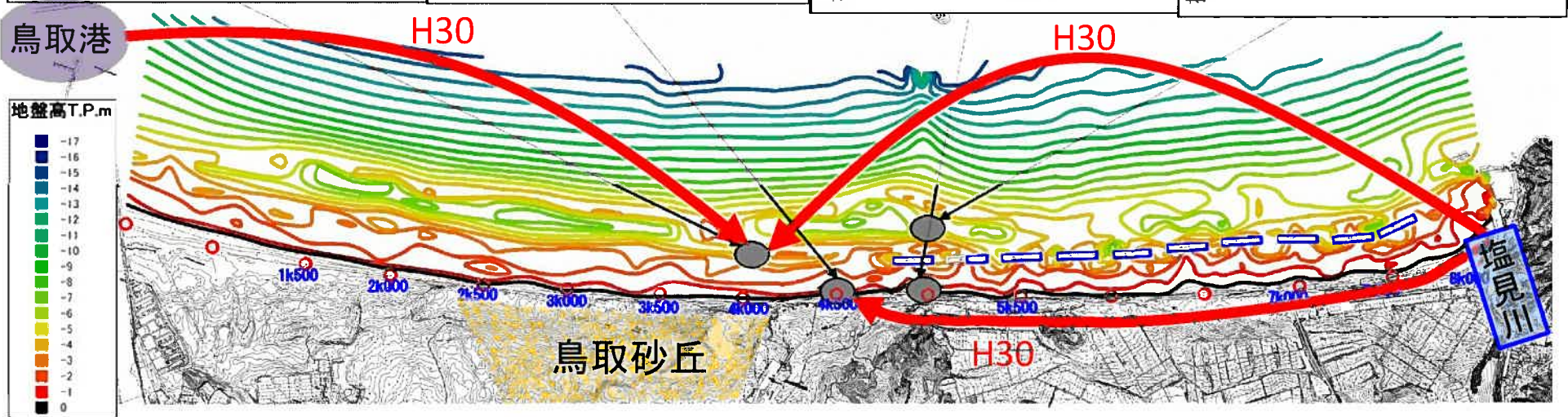
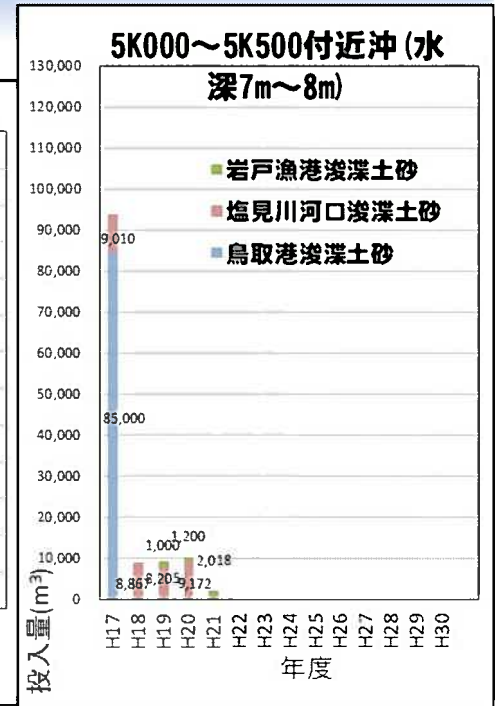
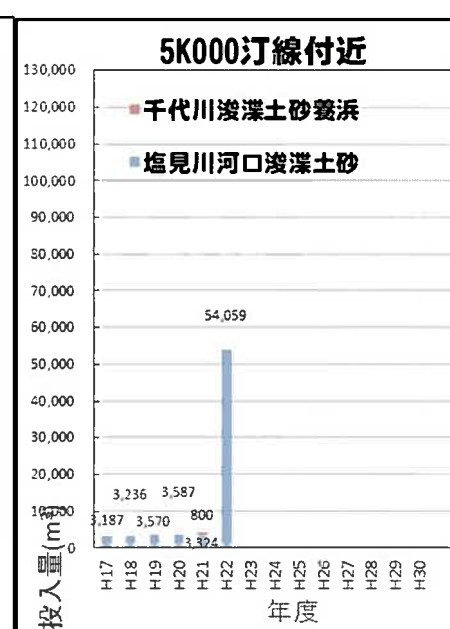
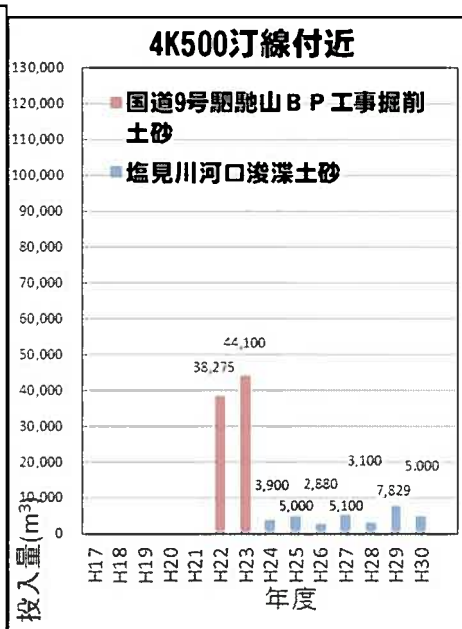
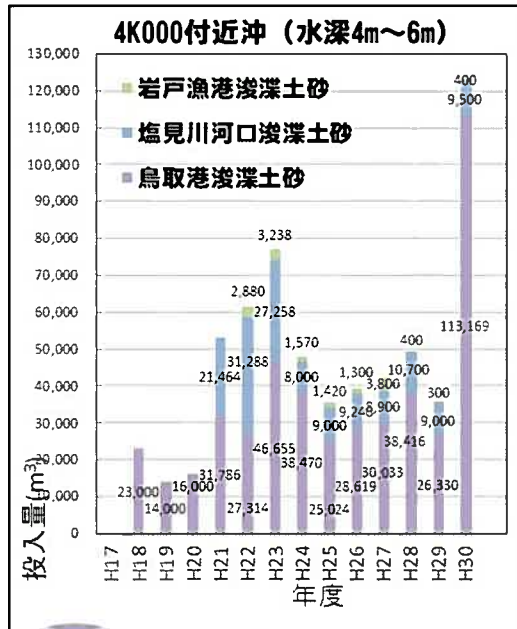
- H13~30年度 サンドリサイクル量640, 160m³ (年平均35, 564m³)、H30年度 35, 439m³
 - H30年度は例年の養浜に加えて、浜崖対策として、サンドバックの試験施工やサンドポンプの試験施工を実施。
 - 利用(40m) … 浦富・牧谷海水浴場は目安浜幅を下回っている状況。
 - 防護(25m) … 概ね目標の25mを確保している。
- <対応方針>**
 引き続きサンドリサイクルを実施し、経過観察を行う。
 海水浴時期は注視する。

③千代川右岸 【航空写真】

令和元年5月22日撮影 航空写真



③千代川右岸 【サンドリサイクル実績】



③千代川右岸 【評価分析】

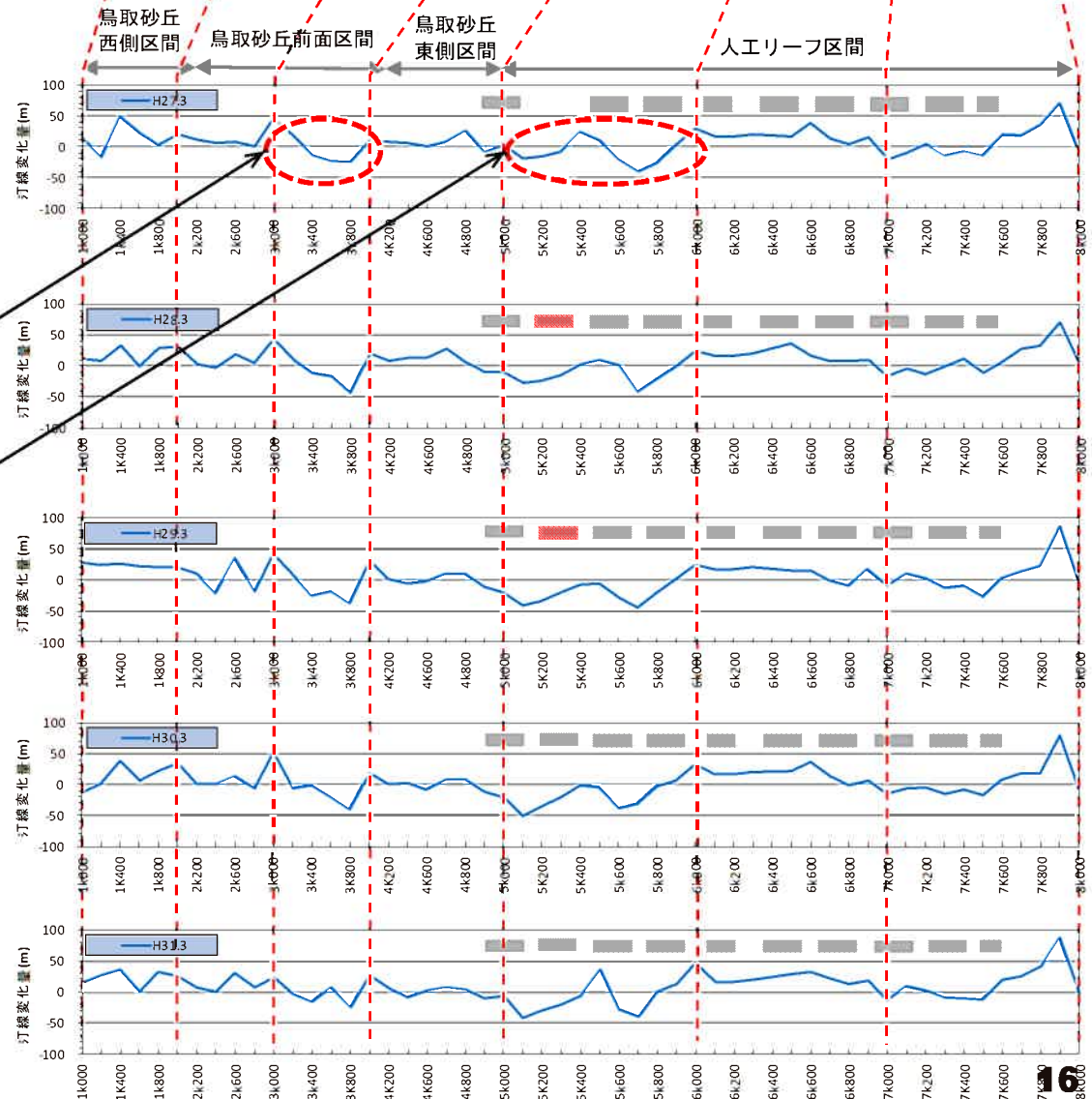
○サンドリサイクル開始以後の汀線経年変化



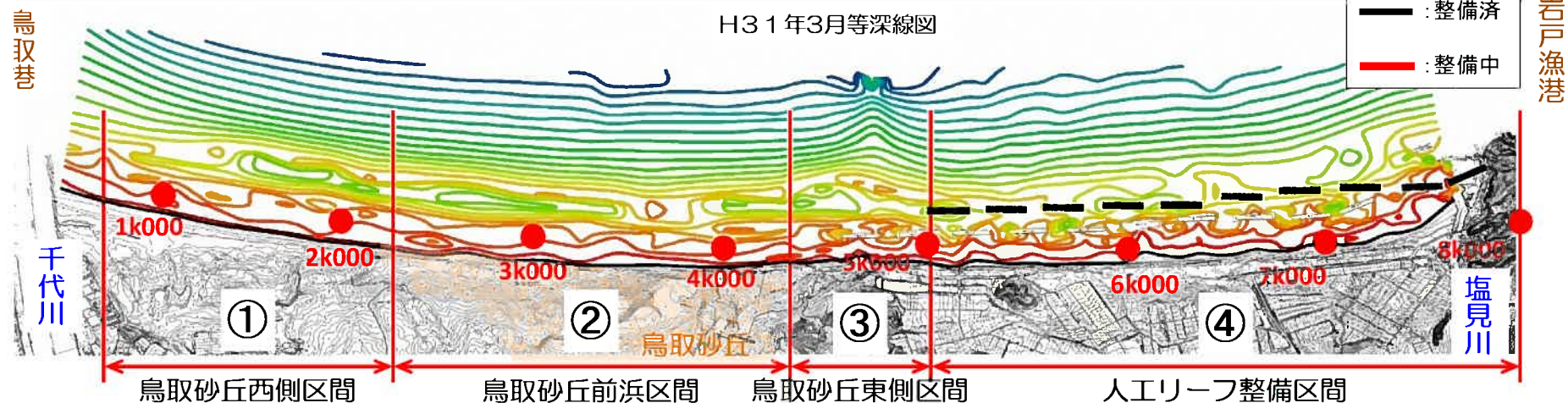
H18年を基準とすると、
鳥取砂丘東側と人工リーフ西端で
局所的に後退しているが、
サンドリサイクルにより、汀線状況
は落ち着いている。

鳥取砂丘東側が局所的に後退傾向。

【リーフ西端】
局所的に後退傾向。



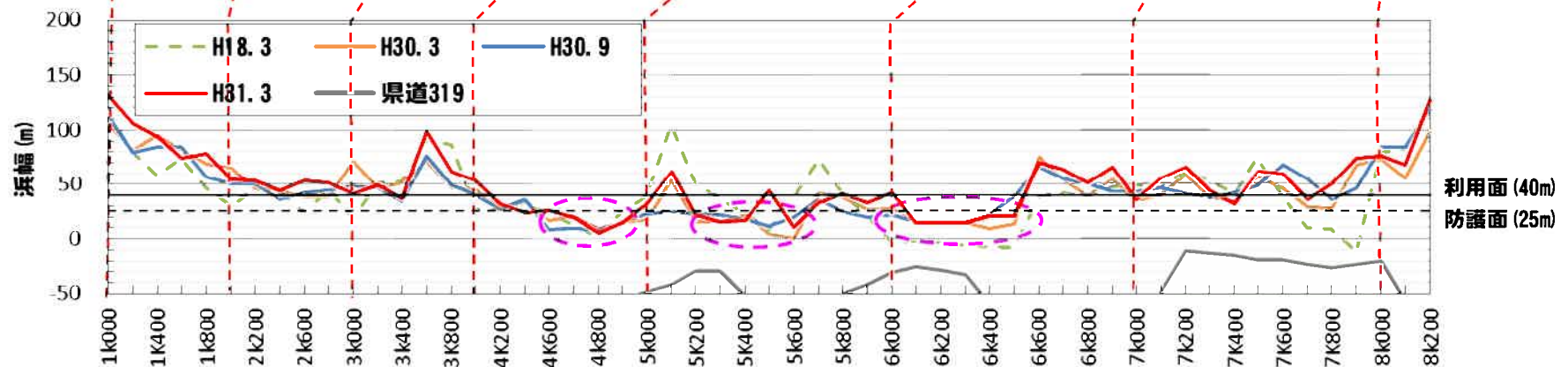
③千代川右岸 【評価分析・方針】



	①(鳥取砂丘西側区間)	②(鳥取砂丘前浜区間)	③(鳥取砂丘東側区間)	④(人工リーフ整備区間)
長期的な変化 (H18→R1)	安定傾向	西側は安定 東側は侵食傾向	東側侵食傾向	全体的に安定傾向 リーフ未整備箇所・西端は侵食傾向
過年度の対策 (H18~H30)	—	サンドリサイクル	H22~23年度 駈馳山BP サンドリサイクル	サンドリサイクル 人工リーフ整備
本年度の対策 (R1)	—	サンドリサイクル	—	サンドリサイクル
短期的な変化 (H30→R1)	概ね安定傾向	概ね安定傾向	概ね安定傾向	概ね安定傾向
来年度の対策予定 (R2)	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル

- H17~H30年度 サンドリサイクル量868,953m³(年平均 62,068m³)、H30年度 128,069m³
- 鳥取砂丘前浜区間 東側が汀線後退傾向。
- 5号、8号人工リーフ背後が汀線後退傾向。

③千代川右岸 【目安とする浜幅分析】



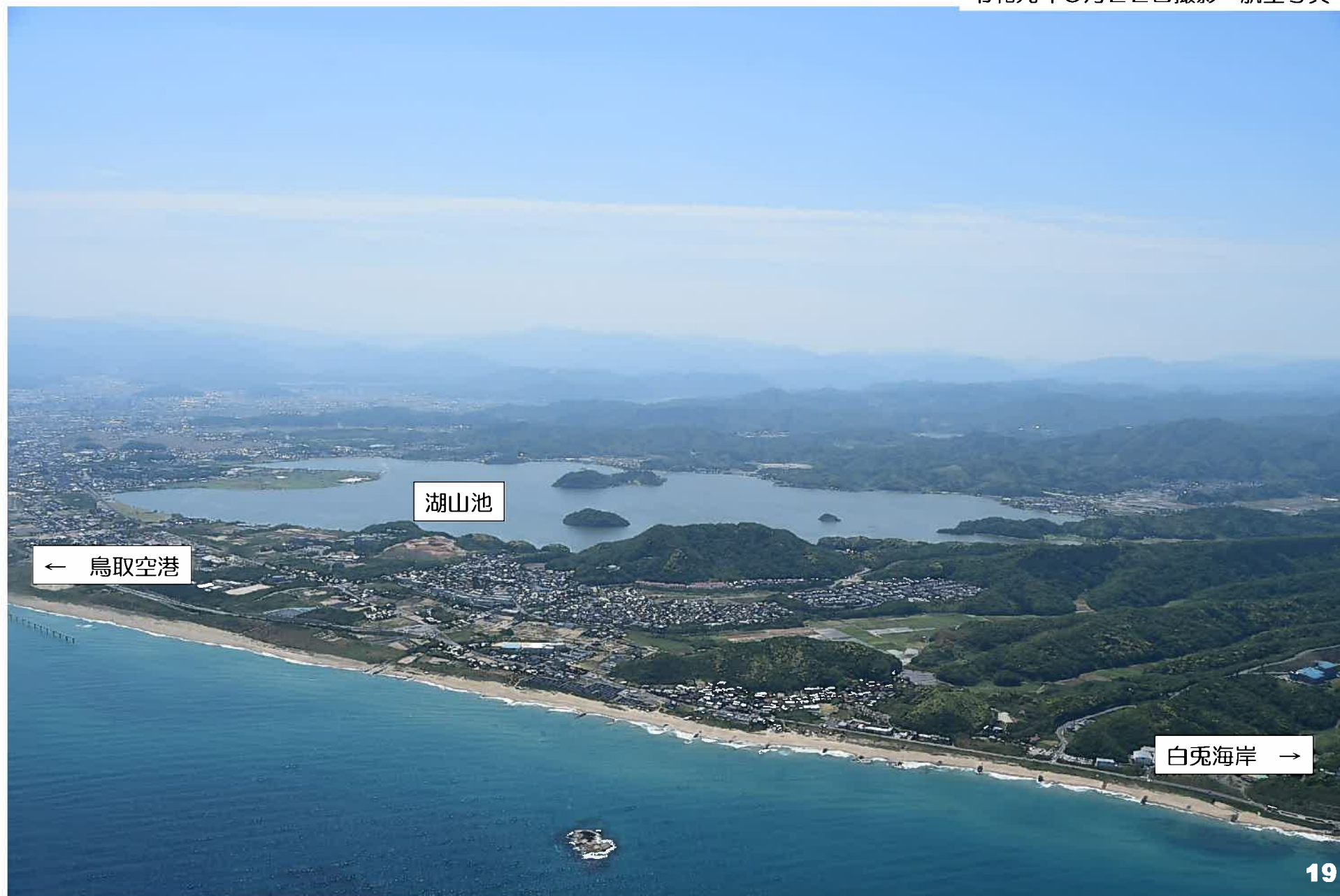
- 利用(40m)・・・鳥取砂丘海水浴場は、浜幅が確保できていない。
- 防護(25m)・・・概ね浜幅は確保されているが、人工リーフの下手側と5k～6k付近では浜幅が狭くなっている。

<対応方針>

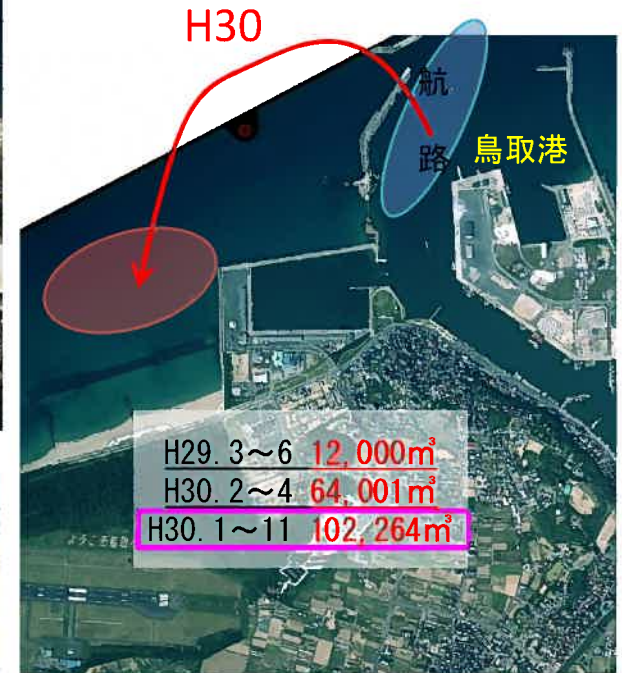
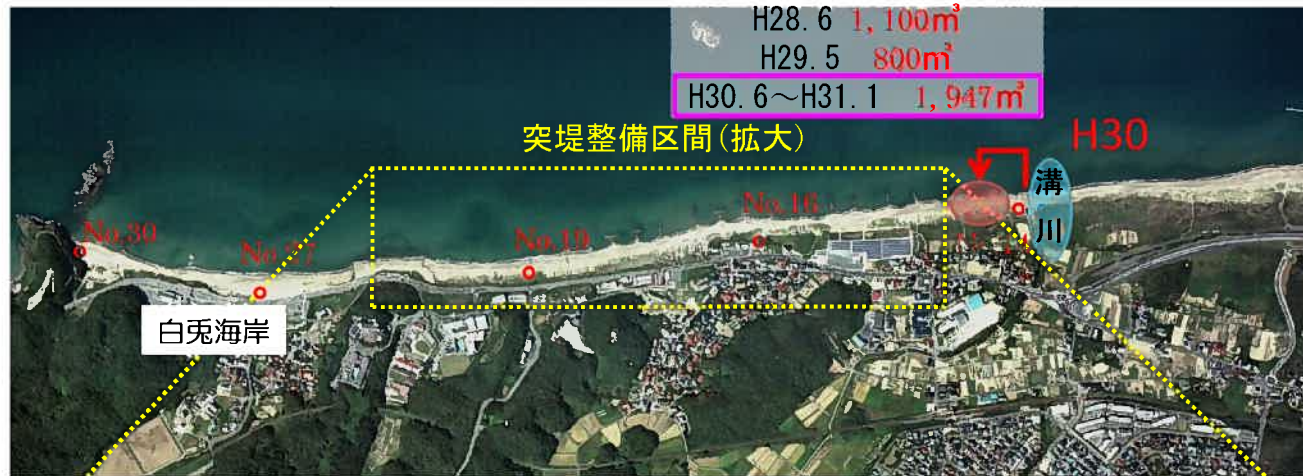
引き続きサンドリサイクルを実施し、経過観察を行う。
 浜幅が狭くなっている区間については、今後の動態に注視する。

④千代川左岸 【航空写真】

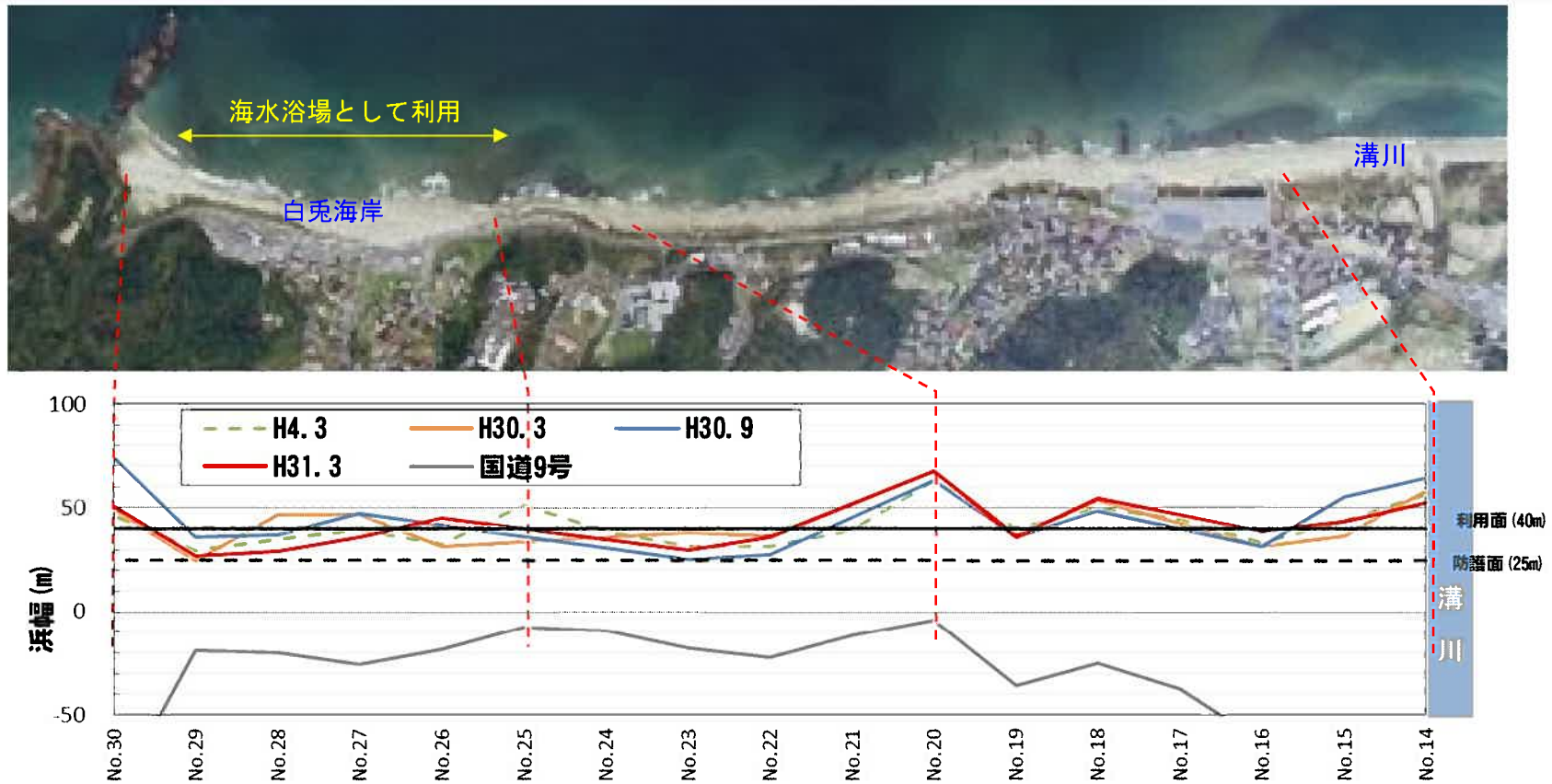
令和元年5月22日撮影 航空写真



④千代川左岸 【サンドリサイクル実績】



④千代川左岸 【目安とする浜幅分析】



長期的な変化 (H4→R1)	H28年度以降の養浜の効果により安定傾向
過年度の対策 (H4～H30)	サンドリサイクル
本年度の対策 (R1)	サンドリサイクル
短期的な変化 (H30→R1)	H30年度の養浜の効果により概ね安定傾向
来年度の対策予定 (R2)	サンドリサイクル)

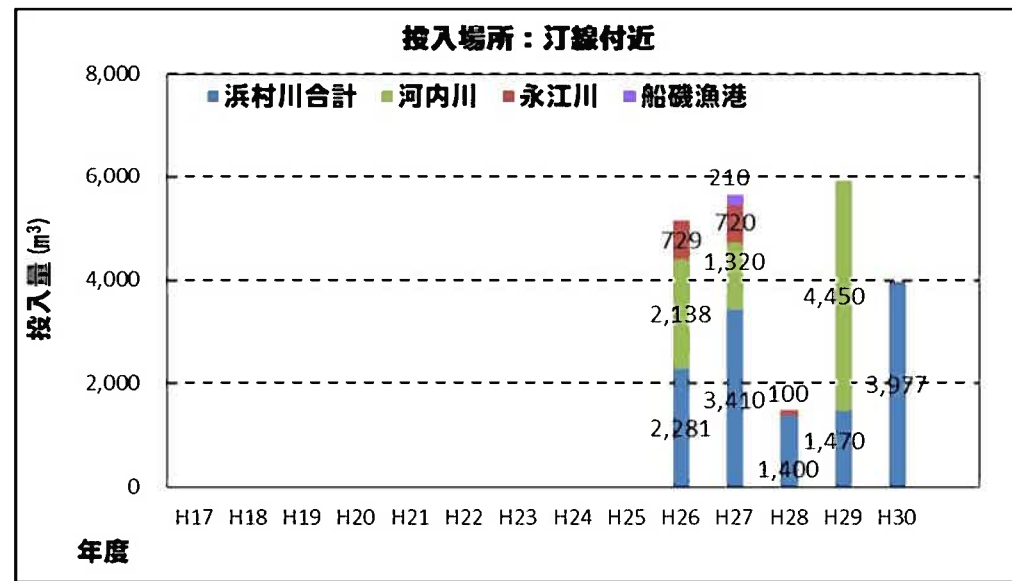
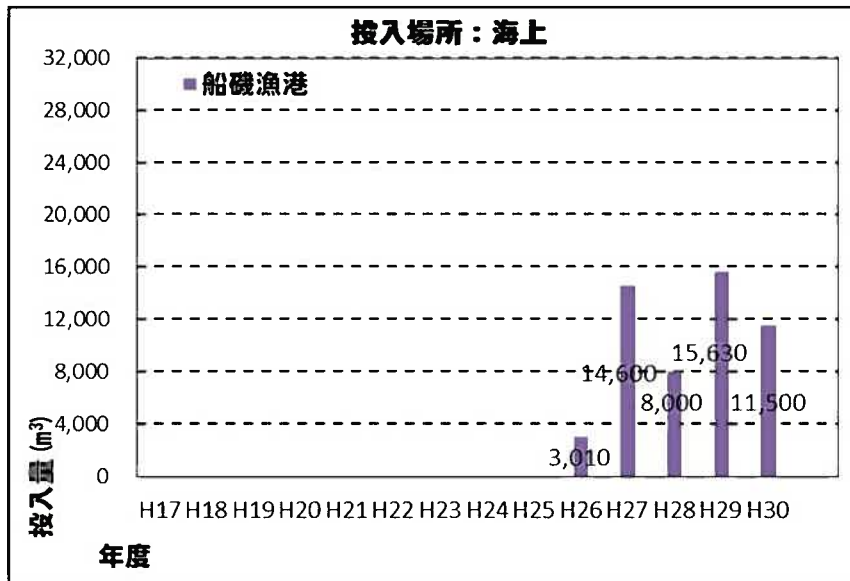
- H25年12月、28年4月にも浜崖発生。
 - H29年度より、鳥取港の浚渫土の養浜を実施。
H30年度も鳥取港に堆積した土砂の養浜を実施。
 - 利用(40m) … 夏季は利用面での浜幅を概ね確保。
 - 防護(25m) … 浜幅は確保できている。
- <対応方針>**
引き続きサンドリサイクルを実施し、経過観察を行う。
海水浴場については、海水浴時期の浜幅を注視する。

⑤ 気高海岸 【航空写真】

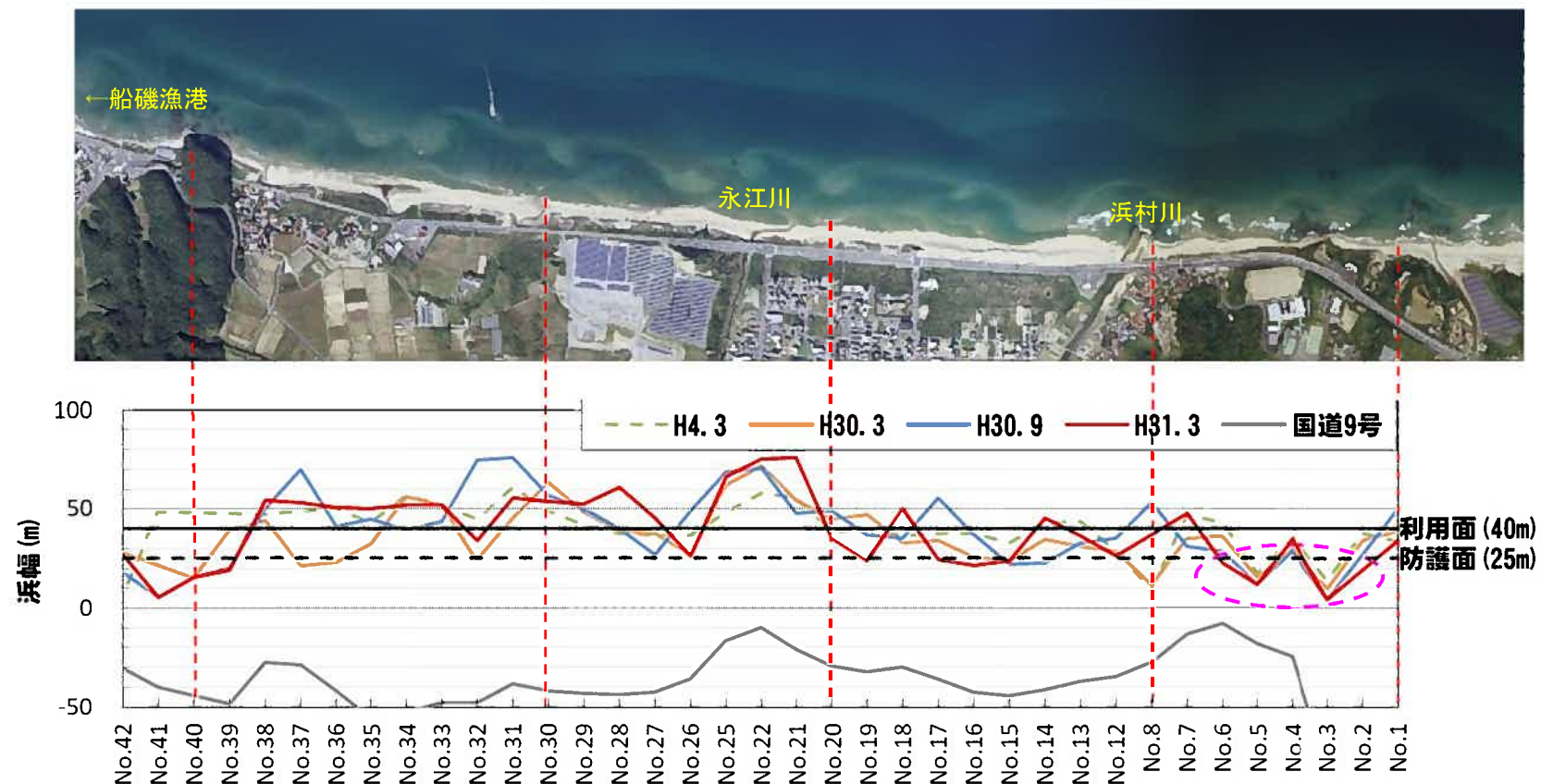
令和元年5月22日撮影 航空写真



⑤気高海岸 【サンドリサイクル実績】



⑤気高海岸 【目安とする浜幅分析】



長期的な変化 (H14→R1)	浜村川右岸等における汀線の後退が顕著化
過年度の対策 (H14~H30)	サンドリサイクル(永江川、浜村川、河内川、船磯漁港)
本年度の対策 (R1)	サンドリサイクル
短期的な変化 (H29→H30)	季節毎に汀線の前進・後退が激しい(例年)。
来年度の対策予定 (R1)	サンドリサイクル

- H25年度 浜村川右岸侵食(矢板設置)、
H26年度 冬季風浪による浜崖(大型土のう設置)
- 浜村川右岸、浜村交差点付近の局所的な
侵食・浜崖が発生しており、引き続き海岸
状況を注視していく。
- 利用(40m) …… 海水浴場の開設予定なし(R1)
- 防護(25m) …… 浜村川周辺等、局所的に目安
浜幅を下回る箇所がある。

＜対応方針＞

引き続きサンドリサイクルを実施し、経過観察を行う。
国道も近接しているため、局所的に防護目安を
下回っている箇所について注視が必要。